

統合管理

～サイト作成とオープンデータの公開～

A-PLAT CLIMATE CHANGE
ADAPTATION
INFORMATION
PLATFORM
気候変動適応情報プラットフォーム



目次

第 1 章 はじめに.....	1
目的	2
ArcGIS Hub とは	2
ArcGIS Hub サイト構築の前に	3
作業フロー	4
第 2 章 ArcGIS Hubの構築	5
ArcGIS Hub のサイトを立ち上げる	6
ステップ 1: Hub サイトの新規作成.....	6
コンテンツを共有する	8
ステップ 1: データの登録と共有範囲の設定	8
ステップ 2: 既存のコンテンツを共有する.....	10
ステップ 3: メタデータの設定	11
Webページを設計する.....	12
ステップ 1: 新規ページの作成	12
ステップ 2: デザインの編集	14
ステップ 3: ヘッダーの編集	14
ステップ 4: レイアウトの編集	16
オープンデータページの編集.....	20
ステップ 1: タグ設定したコンテンツライブラリの公開.....	20
ステップ 2: マップサービス（別冊1）の公開	21
ステップ 3: フィーチャ サービス（別冊2）の公開	23
ステップ 4: hubの公開	26



第 1 章 はじめに

目的

地方自治体及び地域気候変動適応センターの方が、ArcGIS Hub を活用し、地域における気候変動適応に資する情報の一元管理及び公開を行う際の一助となる事を目的として、アプリケーション操作手順書を作成しました。

ArcGIS Hub とは

ArcGIS Hub とは、地域の住民やパートナー、教育機関や研究機関が一緒に取り組んでいくためのコミュニティの形成と活動の継続を支援するための双方向型プラットフォーム製品です。主に ArcGIS Hub Basic では、データを公開し、Web サイトを作成する機能が利用できます。また、オープンデータを検索、ダウンロードする機能を搭載した Web サイトをコーディングすることなく、設定ベースで構築できます。

「気候変動影響・適応情報」等を取り纏めて効果的に情報発信・普及啓発をすることができるようになります。

◇ **主な機能**・・・「情報発信のための Web サイトの構築」、「データの共有・検索」

ArcGIS Hub サイト構築の前に

ArcGIS Hub でサイトを構築する前に、サイトに搭載するデータを準備する必要があります。
既存のサイトや、作成済みのArcGIS onlineのアプリ等を利用する事も可能です。

マップ サービスおよびフィーチャ サービスのデータ作成事例として別冊手順書を準備しましたので、必要に応じてご利用下さい（なお、このデータ作成には、ArcGIS Pro (<https://www.esri.com/products/arcgis-pro/>) のライセンスが必要となります）。

- マップ サービスについて

『統合管理～サイト作成とオープンデータの公開～』別冊1 NetCDFからタイルレイヤーの作成～」

NetCDF データからマップ タイル パッケージを作成し、タイル レイヤー（マップ サービス）として公開する手順について記載しています。

データ出典：

「環境研究総合推進費2-1805成果（日本版SSP0.05度メッシュ人口シナリオ第2版）」

性別・人口階級別3次メッシュ人口シナリオ第2版

<https://adaptation-platform.nies.go.jp/socioeconomic/population.html>

- フィーチャ サービスについて

『統合管理～サイト作成とオープンデータの公開～』別冊2 さくら開花情報の可視化」

気象庁が提供している「生物季節観測の情報」をもとに開花情報の時系列ポイント データを作成し、フィーチャ レイヤー（フィーチャ サービス）として公開する手順について記載しています。また、こちらの手順書では、時系列ポイント データを利用したアプリ作成方法まで解説しています。

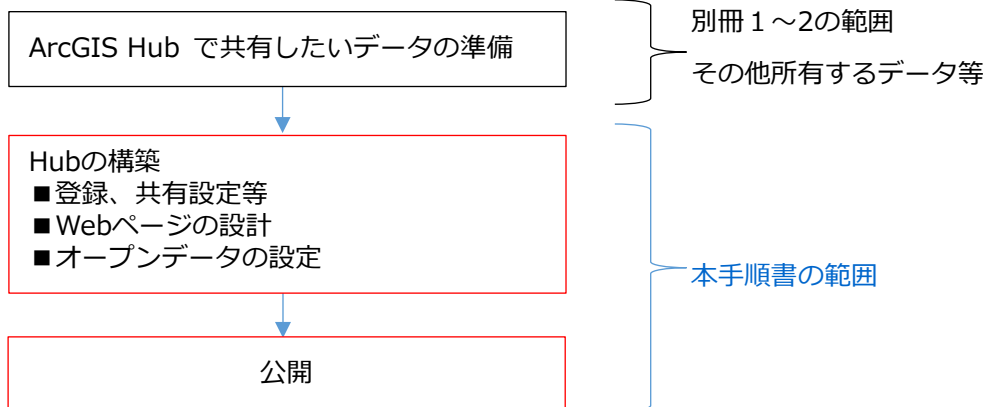
データ出典：

気象庁「生物季節観測の情報」

<https://www.data.jma.go.jp/sakura/data/index.html>

作業フロー

本手順書の作業フローを以下に示します。



完成イメージ



第 2 章 ArcGIS Hubの構築

ArcGIS Hub のサイトを立ち上げる




ステップ 1: Hub サイトの新規作成

- ① PC の Web ブラウザーを起動し、ArcGIS Online のサイト www.arcgis.com にアクセスして、サイン インします。
- ② ホーム画面右上のアプリ ランチャー（点が9つ並んだマーク）をクリックし、[Hub] アイコンをクリックして ArcGIS Hub を立ち上げます。
- ③ サイトの [新規作成] をクリックし、任意のサイトの名前を入力します（この手順書では、例として「A-PLAT」と入力）。サイトを作成すると自動的にチームも作成されます。



- ④ 新しいサイトが立ち上がると、画面中央にチュートリアルが表示されます。はじめに Hub の構成について紹介します。



名称	説明	画面
サイトのホーム	Webページの編集を行えます	
ダッシュボード	閲覧者のエンゲージメントを確認できます	
チーム	Hubサイト内のグループ（チーム）を編成できます	 <div>Premiumのみの機能になります*</div>
フィードバック	ユーザーに対しての調査の作成・収集を行えます	 <div>Premiumのみの機能になります*</div>
コンテンツライブラリ	オープンデータ等のコンテンツの編集を行えます	
グループマネージャー	グループ内の共有コンテンツ等の編集を行えます	 <div>Premiumのみの機能になります*</div>

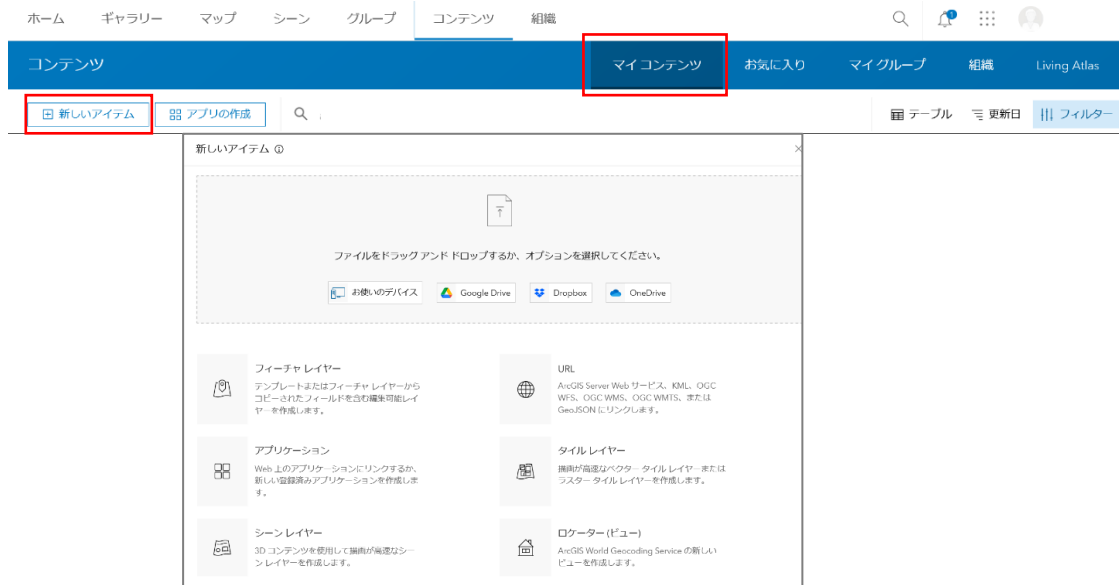
*ArcGIS Hub には、Basic と Premium の2つのライセンス レベルがあり、BasicはArcGIS Online に含まれ（追加費用は不要）、PremiumはBasicより機能が多く有償となります（ご参照：<https://www.esri.com/products/arcgis-hub/>）。

ArcGIS Hub の構成

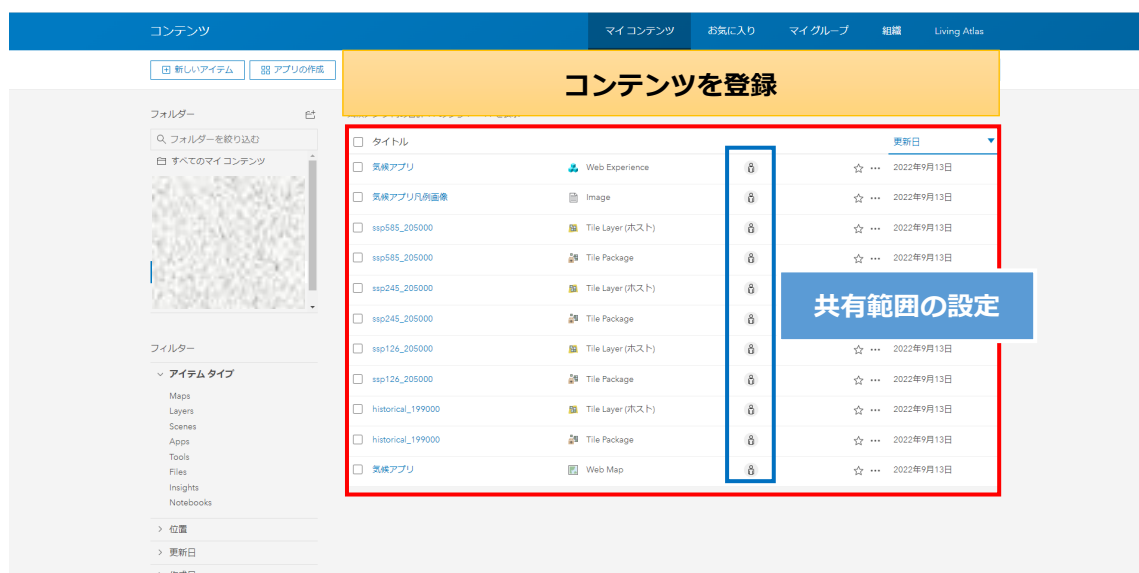
コンテンツを共有する

ステップ 1: データの登録と共有範囲の設定

- ① はじめに ArcGIS Hub で共有したいデータを ArcGIS Online にアップロードします。コンテンツ ページの [マイ コンテンツ] タブから、[新しいアイテム] をクリックし、データを追加します。



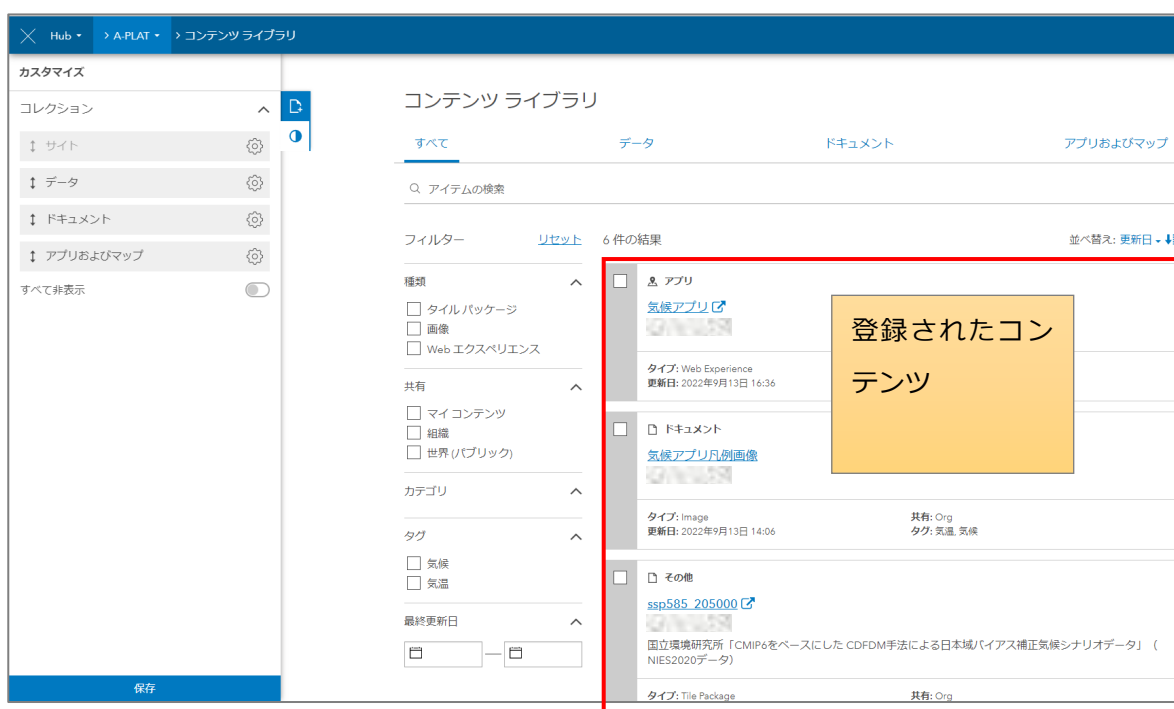
- ② [マイ コンテンツ] で人のアイコンをクリックすると共有範囲の設定を行う事ができます。



- ③ オープンデータとして登録したいコンテンツの共有レベルを [組織] に変更し、グループ共有の編集を [サイトの名前（本手順書では「A-PLAT」）のコンテンツ] にチェックを入れ、チームにコンテンツを共有して保存します。共有範囲の変更を行うとアイコンが変わります。

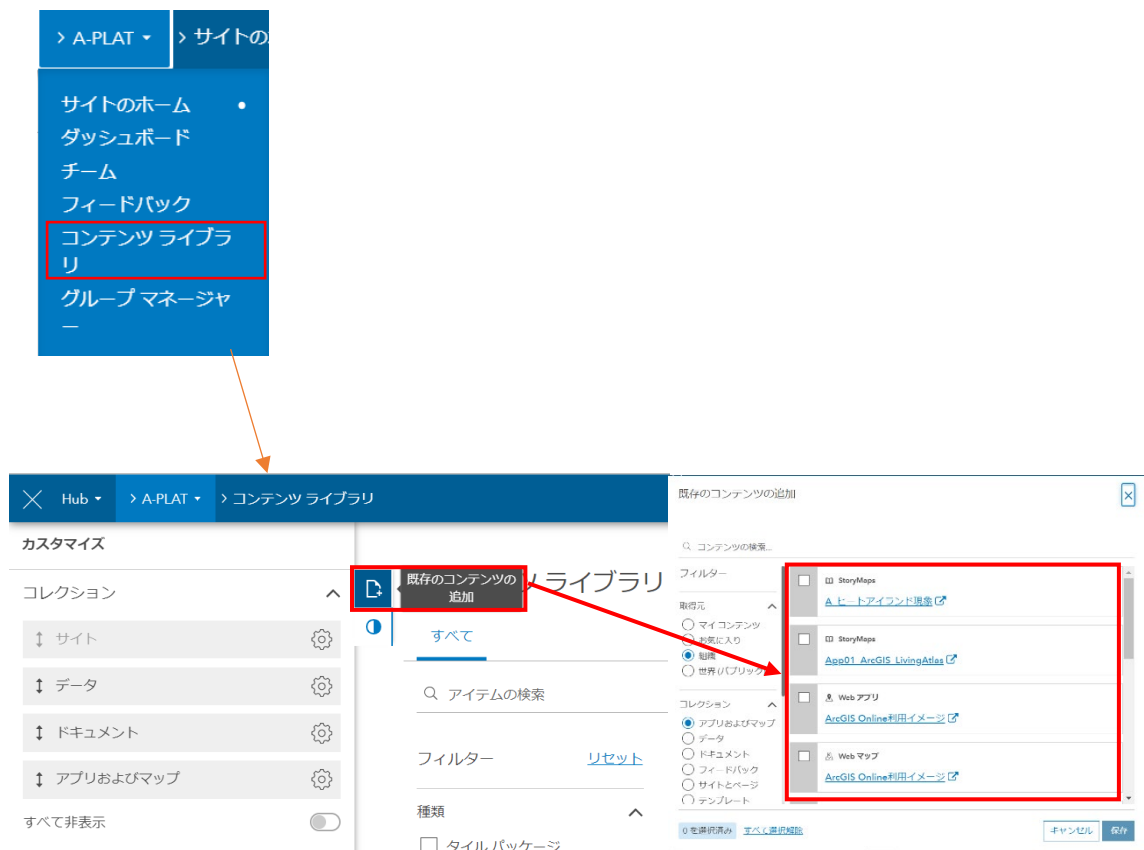


- ④ ArcGIS Hub のサイトホームページに戻り、[コンテンツライブラリ] を開きます。先ほど共有範囲を変更したコンテンツが登録されています。



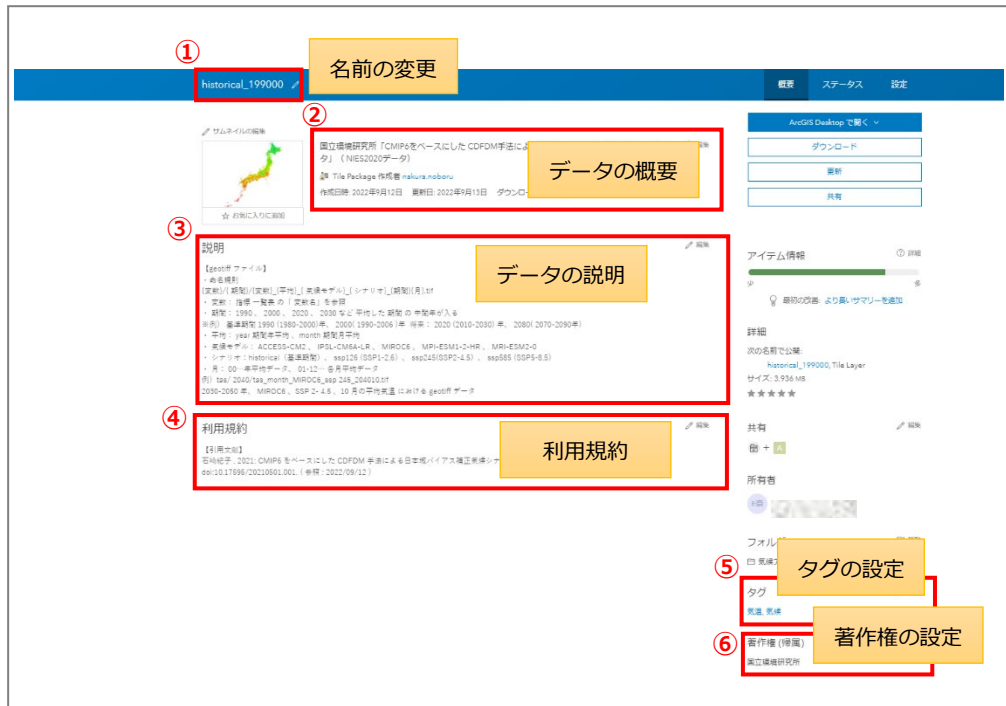
ステップ 2: 既存のコンテンツを共有する

- ① ArcGIS Online の組織サイトに保存しているコンテンツを ArcGIS Hub の [コンテンツライブラリ] に登録することもできます。[コンテンツライブラリ] を開き、既存コンテンツの追加をクリックします。本手順書 第一章で紹介した「マップサービス（別冊 1 NetCDF からタイルレイヤーの作成）」、「フィーチャーサービス（別冊 2 さくら開花情報の可視化）」を作成された方は、ここでアップロード下さい



ステップ 3: メタデータの設定

- ① [コンテンツライブラリ] のコンテンツをクリックし、各項目の[編集] をクリックすると、メタデータの編集ができます。適宜メタデータの編集を行います。



メタデータについてはこちらをご参照下さい

＜GIS基礎解説「メタデータ」＞

<https://www.esri.com/gis-guide/other-dataformat/metadata/>

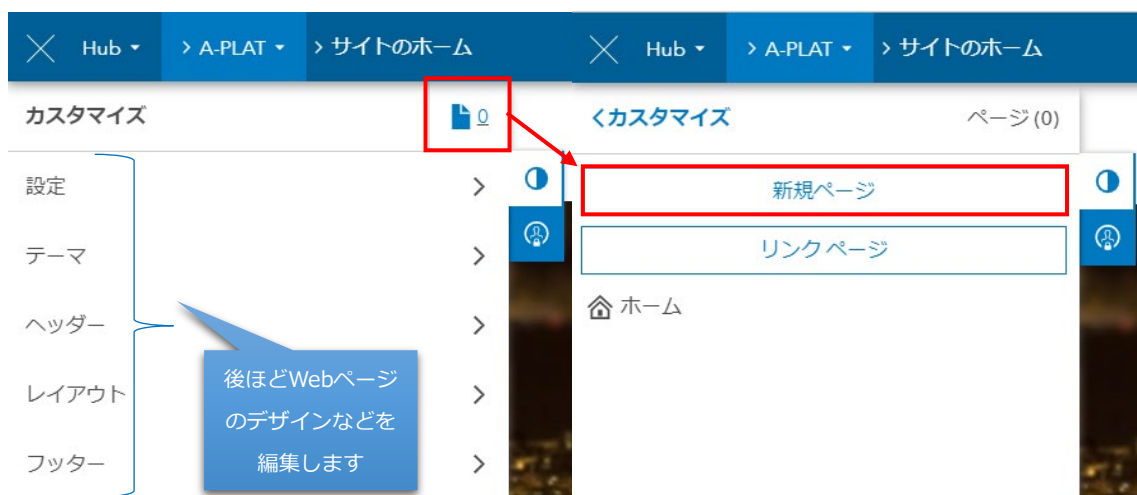
＜ArcGIS online「メタデータ」＞

<https://doc.arcgis.com/ja/arcgis-online/manage-data/metadata.htm>

Webページを設計する

ステップ 1: 新規ページの作成

- ① Hub[サイトのホーム] より、[カスタマイズ] の右端にあるページアイコンをクリックして新規ページを作成します。



- ② 新規ページのウィンドウが開きます。ページタイトルを入力しますが、こちらはサイト URL の一部となるため英語表記にしてください。

手順書では「opendata」と入力しています。URLの構成は下記のようになり④の箇所のドメイン名に含まれます。

URLの構成

https://■■■.hub.arcgis.com/pages/opendata

① ② ③ ④

①	ArcGIS Onlineの組織サイト
②	ArcGIS Hubのサイトのホーム
③	ページ
④	オープンデータページ

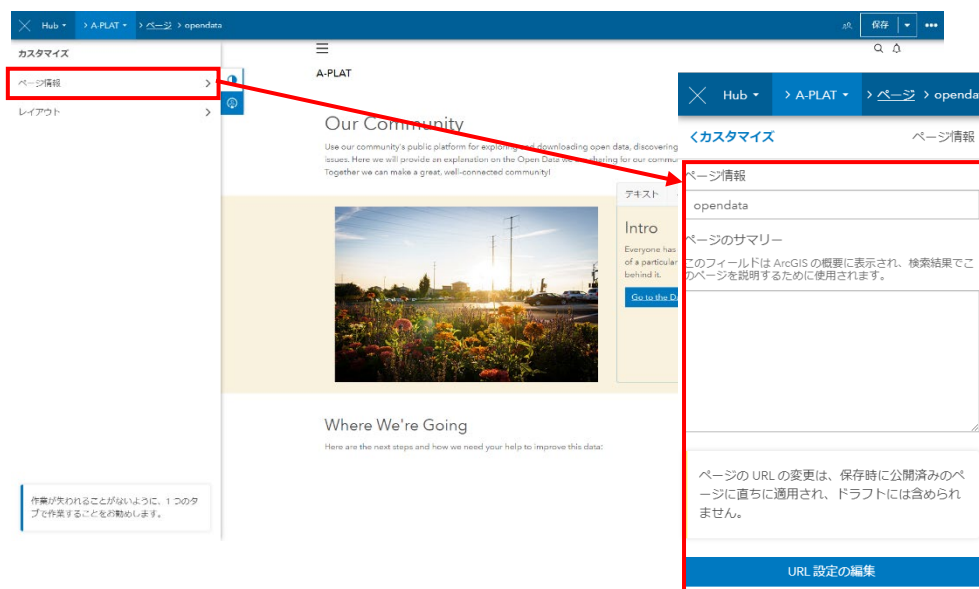
新規ページ

ページとして保存

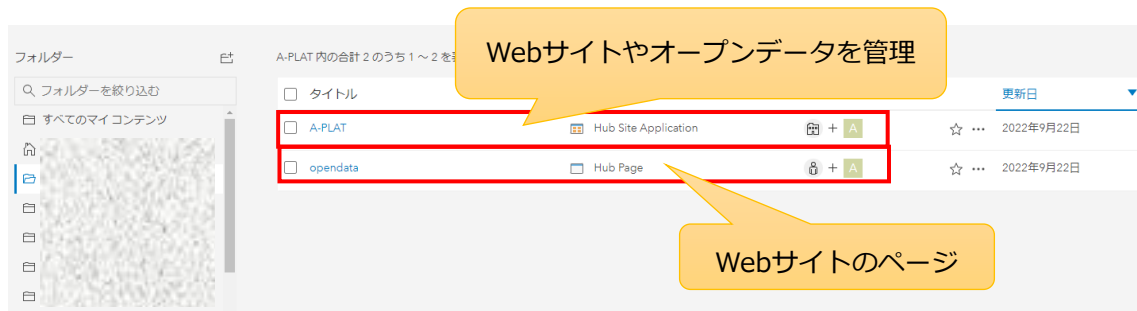
opendata

次へ

- ③ [次へ] をクリックするとページが立ち上がります。[ページ情報] を開くとページのサマリーやURLの編集が行えます。



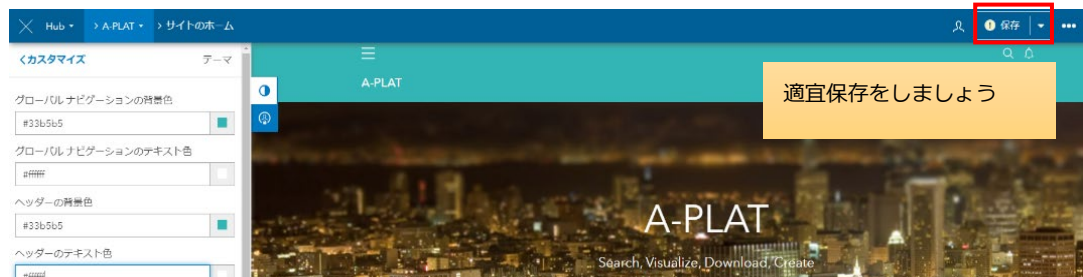
- ④ 一度 [マイコンテンツ] に戻り、Hub サイトのページが保存されているか確認します。



ステップ 2: デザインの編集

- ① [サイトのホーム] に戻り、[テーマ] より Web ページのデザインを以下のように設定します。設定できたら [保存] をします。こまめに保存するようにしましょう。

グローバルナビゲーションの背景色	グローバルナビゲーションのテキスト色	ヘッダーの背景色
#33b5b5	#ffffff	#33b5b5
ヘッダーのテキスト色	本文の背景色	本文のテキスト色
#ffffff	#ffffff	#4c4c4c
本文のリンクの色		
#0079c1		

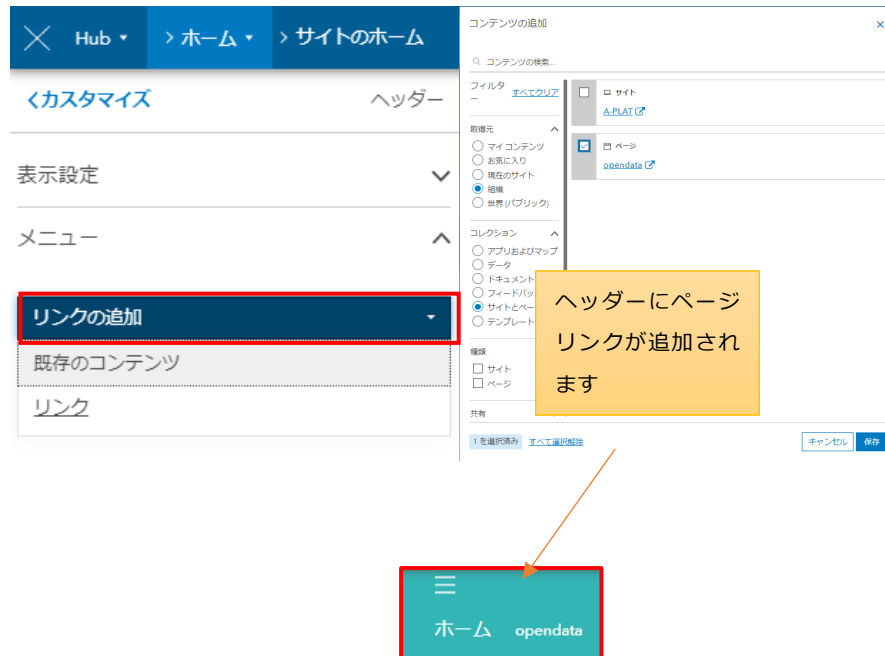


ステップ 3: ヘッダーの編集

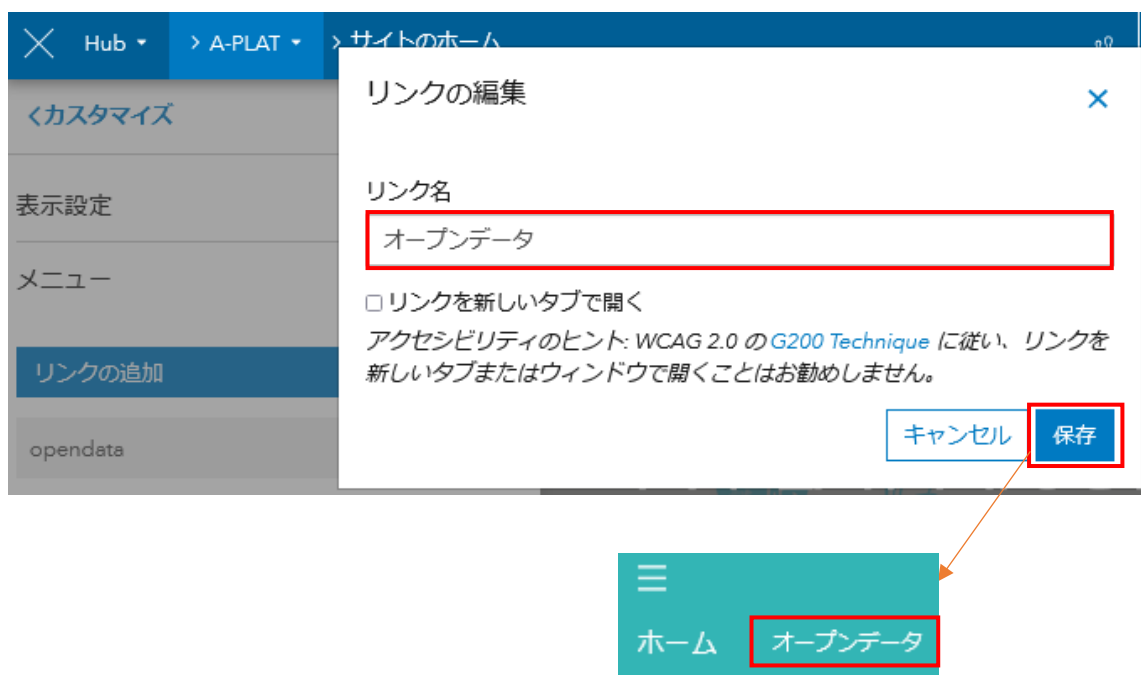
- ① 続いて [ヘッダー] よりヘッダーの編集を行います。[名前] を「A-PLAT」から「ホーム」に変更します。



- ② 同じく [ヘッダー] の[メニュー]から [リンクの追加] > [既存のコンテンツ] より先ほど作成したオープンデータページを連携させます。[コレクション] を [サイトとページ] にフィルターをかけると opendata ページが表示され、チェックを入れて保存します。



- ③ リンク追加したページの名称を変更する時は、[ヘッダー] の[メニュー]からリンク追加した名称横の編集ボタンをクリックし、リンク名を変更の上保存とすると、反映されます。



ステップ 4: レイアウトの編集

[レイアウト] より Web ページのコンテンツを編集できます。 ArcGIS Hub では「カード」というウィジェット単位で Web ページを構成しています。主なカードの概要について説明します。

行	
アプリケーション	
画像	
スペーサー	
テキスト	
調査	
カテゴリ	
問い合わせ先情報	
マップ	
チャート	
iframe	

行	カードの背景として使用します
アプリケーション	ArcGIS のアプリケーションを挿入します
画像	画像を挿入します
テキスト	テキストを挿入します
カテゴリ	コンテンツをカテゴリごとに分類します (オープンデータの公開の際に利用します)
マップ	マップを挿入します
iframe	https の外部サイトを埋め込みます

- ① 実際にカードを使用して Web ページのレイアウトを編集します。新規ページを作成した時点でテンプレートが表示されているので、引用しながら作成していきます。[行] の編集（次ページの図参照）より、背景画像を変更します。

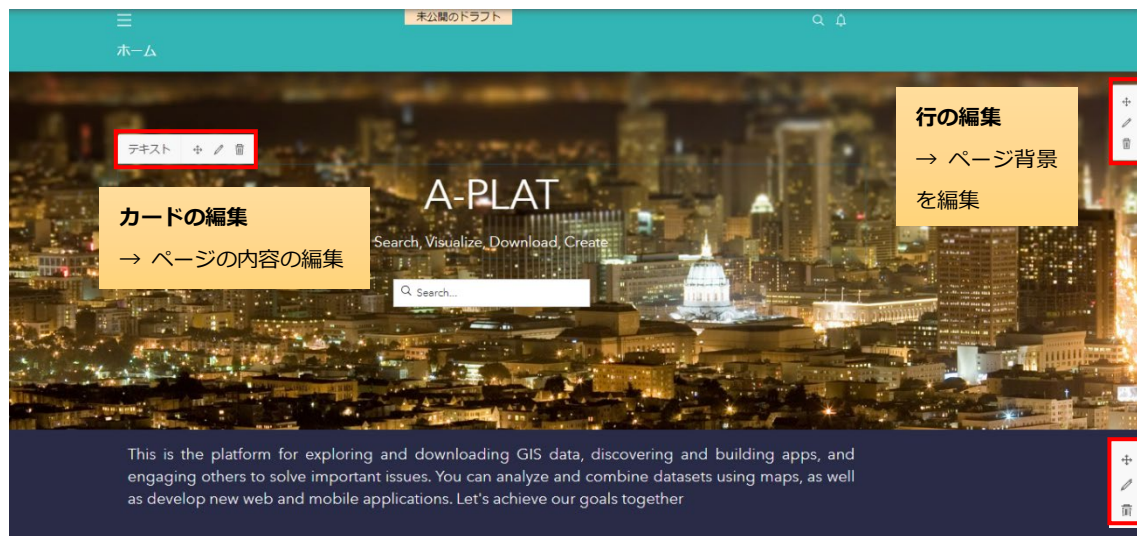
[表示設定]

- ・テキスト色・・・#ffffff
- ・背景色・・・#000000
- ・背景画像・・・背景にしたい画像をアップロード
- ・画像透過率・・・50%

- ② テキストの編集を行います。カーソルが点滅状態になるとテキストの入力ができます。テキストのスタイルは以下を参考にしてください。



①	②	③	④	⑤
文字の大きさ	太字	斜体	リンク埋め込み	箇条書き
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
段落番号	段落	表	カードなどの挿入	ヘルプ



- ③ 外部サイトのリンクを Web ページに埋め込むことも出来ます。その場合は [iframe] カードを使用します。

カードをドラッグします

iframe

iframe の URL

モバイル URL のオーバーライド

モバイルで非表示

スクロールを許可

共有の有効化

ボタンを常に表示

表示設定

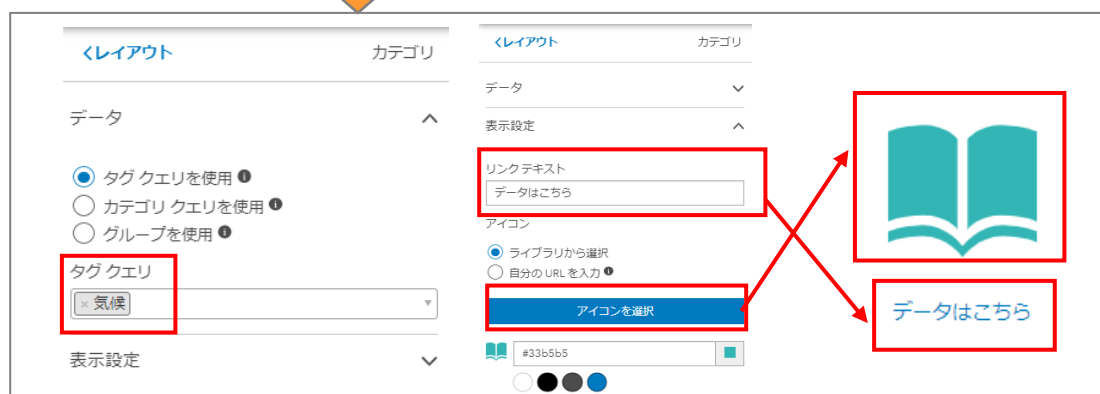
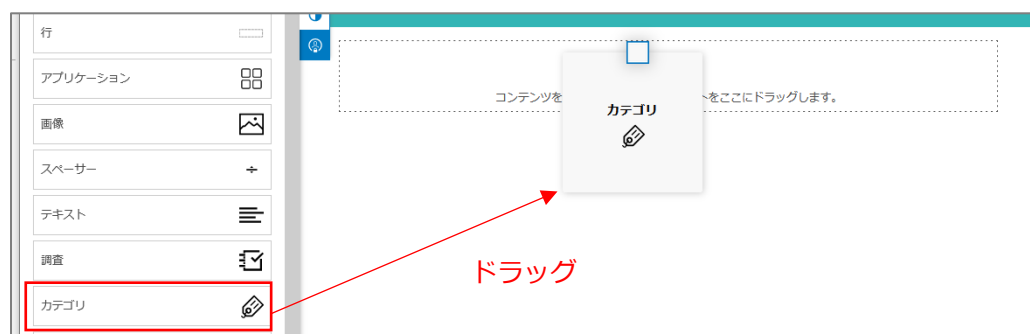
URLを入力するとサイトが埋め込まれます

その他のカードも利用できますので、色々ご自身で試してみてください。

オープンデータページの編集

ステップ 1: タグ設定したコンテンツライブラリの公開

上記「データの登録と共有範囲の設定」で登録したデータのうち、タグに「気候」と入力されたデータについて、「オープンデータ」ページへの埋め込みを行います。[レイアウト] より[カテゴリ] カードを使用して、検索するタグとリンクテキストを設定します。



タグの設定も含め、詳しいメタデータの編集方法は上記「メタデータの設定」をご覧ください。

ステップ 2: マップサービス（別冊1）の公開

- ① Hub サイトのコンテンツ内にアップロードした「人口推計メッシュ」のマップタイトルレイヤーの利用方法について紹介します。最初に[レイアウト] より[行] カードをページにドラッグして、表示設定（レイアウト、背景色等）を行います。その上に[レイアウト] より[テキスト] カードをドラッグして「社会経済シナリオに応じた市区町村別の人口推計のデータを見る」と入力し、フォントサイズ等調整します。

社会経済シナリオに応じた市区町村別の人口推計のデータを見る

- ② ステップ1と同様に、[レイアウト] より[カテゴリ] カードを使用して、「データ」と「表示設定」を行います。




- ③ 上記アイコンをクリックすると、タグに「人口」と設定されたデータが表示されます。




- ④ コンテンツのタイトルをクリックすると、メタデータが表示されるページに移動します。次に一番下の青の塗りつぶしになっている [これを使用します] をクリックして、[データソースを表示] を選択して新しいタブを開きます。

2015 F00 04


 新


サマリー
国土数値情報1kmメッシュ別将来推計人口データ（H30 国政局推計）の2020 年推計値と日本版 SSP市区町村別人口推計に基づく市区町村別人口変化率を用いて、日本版SSP1km メッシュ別人口推計データを作成した。なお、本データの2020年1km メッシュ別将来推計人口は日本版 SSP市区町村別人口推計の2020年人口と一致するように調整したものである。


詳細の表示


詳細
マップ
Map Service
2022年9月13日
更新日
2022年9月13日
公開日
プライベートに共有
選択したグループがこのコンテンツを表示
できます
ライセンスが指定されていません
使用権限をリクエスト
指標
過去 30 日間のデータのみを表示

これを使用します

マップについて

 **マップの作成**
このデータを使用してマップを開始

 **ストーリーの作成**
ArcGIS StoryMaps で開く

 **データソースを表示**
選択して新しいタブで開く

 **ArcGIS Online で開く**
選択して新しいタブで開く

※ArcGIS Online のアカウントを持っている場合、[マップの作成] や [ArcGIS Onlineで開く] をクリックすると、ダウンロードせずに利用することができます。

- ⑤ 「Services Directory」の該当ページが開きました。こちらのページから「JSON」や「WMTS」等で使用する URL を取得できます。

Services Directory

Home > 2015_F00_04

JSON | WMTS | API Reference

2015_F00_04 (Map Service)


View In: [ArcGIS JavaScript](#) [ArcGIS.com](#) [WMTS](#)

Current Version: 10.81


ステップ 3: フィーチャ サービス（別冊2）の公開

- ① ステップ2と同様に、Hub サイトのコンテンツ内にアップロードしているフィーチャレイヤー（別冊2）を「オープンデータ」ページから利用できるようにする為に、[レイアウト] から各カードを使用して、下図のようなタイトル及びアイコンを作成します。

生物季節観測の情報をみる



「桜の開花情報」のデータはこちら



「桜の開花日マップ」の手順書はこちら

すべて

データ

ドキュメント

アプリおよびマップ

フィルター

リセット

1 - 4/4 の結果

関連性

タグ: さくら

コンテンツタイプ

タイプの適用

☐ Map Service

☐ Web Map

☐ Web Experience

☐ Feature Service

☐ Hub Page

さらに表示

タグ

タグの適用

☒ さくら

☐ 人口

☐ 人口メッシュ

☐ マツ

☐ 気候

さらに表示

最終更新日

データ

sakura_all

種類: Feature Service

共有: Organization

最終更新日: 2022年9月29日

タグ: さくら

マップ

さくら開花マップ

種類: Web Map

共有: Organization

アップロード: 2022年9月29日

タグ: さくら, さくら開花マップ

アプリ

さくら開花マップ

種類: Web Mapping Application

共有: Organization

アップロード: 2022年9月26日

タグ: さくら, さくら開花マップ

ドキュメント

【手順書】さくら開花情報の可視化

さくらの開花情報のWebマップ及びWebアプリケーションの作成方法を説明します。

種類: PDF

共有: Organization

公開日: 2022年9月27日

ファイルサイズ: NaN undefined

タグ: さくら, 手順書

sakura all



サマリー

さくらの開花日情報を付与したポイントデータ

詳細の表示

ダウンロード

- ② ダウンロード オプション ページでは CSV 形式や KML 形式など用途に応じてデータをダウンロードすることができます。利用可能なデータ形式は「CSV」、「KML」、「シェープファイル」、「ファイル ジオデータベース」、「GeoJSON」、「Excel」、「フィーチャ コレクション」です。

ダウンロード オプション
sakura all

レコード: 232

CSV
ファイルが作成されました: 2022年9月25日 16:27
ダウンロード

KML
更新されたファイルのダウンロードには、多少時間がかかることがあります。
ダウンロード

シェープファイル
更新されたファイルのダウンロードには、多少時間がかかることがあります。
ダウンロード

- ③ アプリケーションを追加する事も可能です。[レイアウト] から[テキスト]カードをドラッグし、タイトル（アプリの活用例「桜の開花日マップ」）を記載します。その下に [レイアウト]から[アプリケーション]カードをドラッグし、 [アプリケーションの選択]から、手順書2で作成したアプリを選択します

Hub > ホーム > ページ > opendata

<レイアウト

デフォルト モバイル

アプリケーションの選択

アプリケーションの選択

アプリケーションを検索...

フィルター [すべてクリア](#)

取得元

- ☒ マイ コンテンツ
- ☐ お気に入り
- ☐ 現在のサイト
- ☐ 組織
- ☐ 世界 (パブリック)

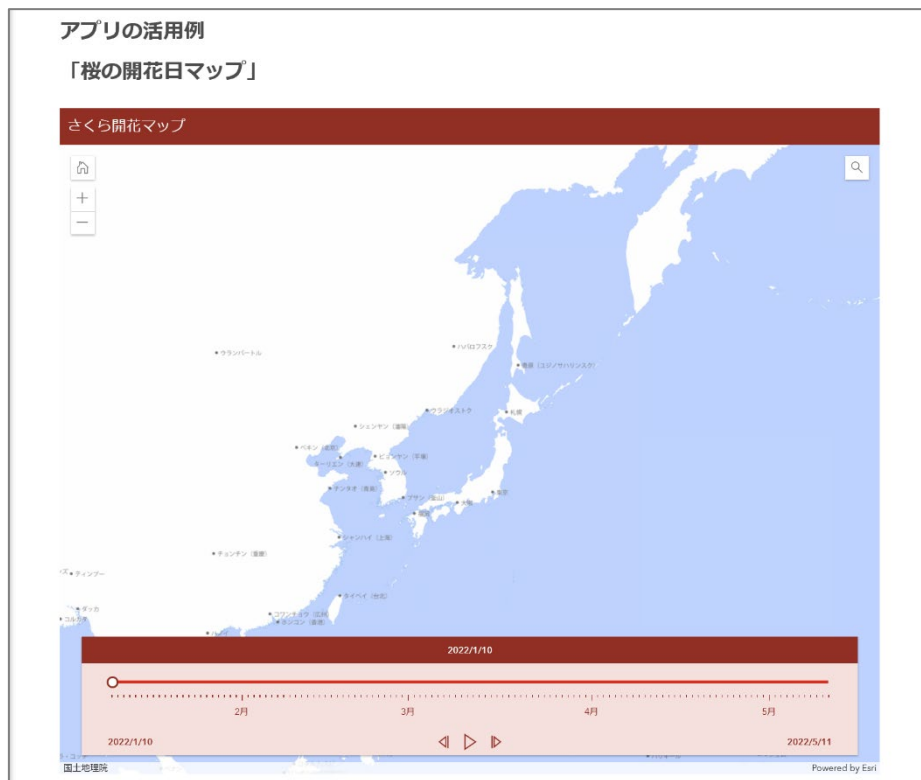
種類

- ☐ StoryMaps
- ☐ ダッシュボード
- ☐ エクスペリエンス
- ☐ Insights
- ☒ Web アプリケーション
- ☐ Web マップ
- ☐ Web シーン

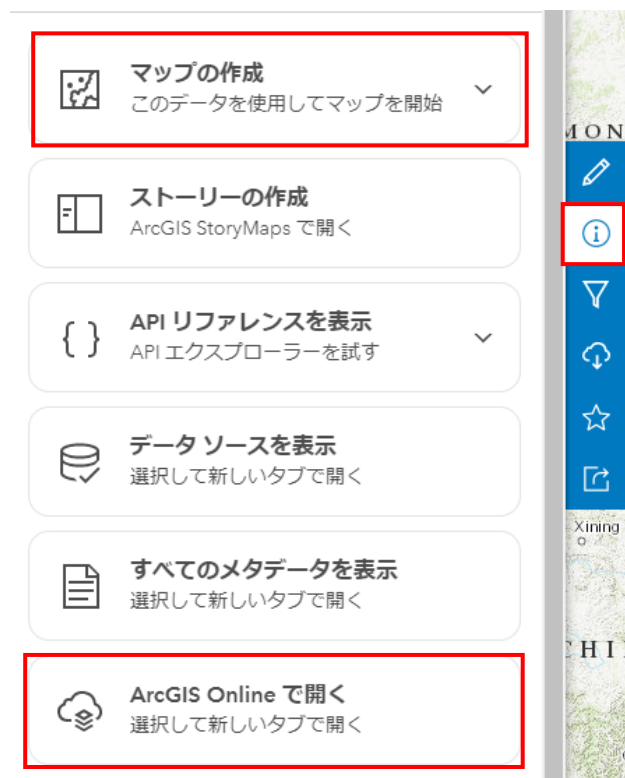
共有

1 を選択済み

キャンセル 保存



- ④ また、インフォメーションの「i」のアイコンをクリックして [マップの作成] や [ArcGIS Online で開く] をクリックすると、 ArcGIS Online のアカウントを持っている場合はダウンロードせずに利用することができます。

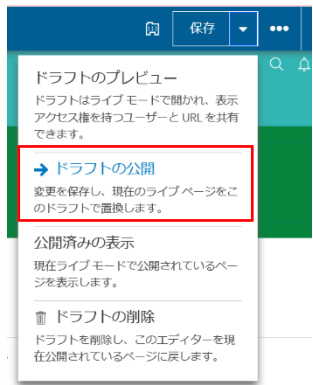


ステップ 4: hubの公開

hub が構築できたら、ページを公開します。画面左側の[共有]のアイコンをクリックし、[共有レベル]で[パブリック]を選択します。



画面右上の[保存]横のドロップダウンメニューから「ドラフトの公開」を選択します。これでサイトが公開されます。



ドラフトのプレビュー	公開する前に、アクセス権を持つユーザーとプレビューを共有する
ドラフトの公開	変更を保存し、既存ページを変更内容に置き換える
公開済みの表示	公開ページを確認する場合に使用
ドラフトの削除	編集セッションでの変更（ドラフト）を削除する



気候変動適応プラットフォーム（A-PLAT）について

テキスト

「気候変動適応情報プラットフォーム（以下「A-PLAT」という）」は、気候変動による影響をできるだけ抑制し、また正の影響を活用した社会構築を目指す施策（気候変動適応策、以下「適応策」という）を進めるために必要な情報を、分かりやすく発信するための情報基盤です。



完成イメージ

以上

手順書に用いたデータを実際に公開される場合には、各データの利用規約に従って下さい。

本手順書は以下発行時の内容となっており、今後画面に変更が生じることもあります。

必要に応じて本手順書が公開されているWebページ下部にある参考資料をご参照ください。

2022年9月30日 第1版発行（2025年5月アップデートに伴い一部加筆）

© National Institute for Environmental Studies. 2025